

政策評価シート(令和4年度実績評価)

◎政策の基本情報

政策No	0502	政策名	持続可能で健全な財政経営	政策主管課	財政課	課長名	千葉 孝典
政策の目指す姿		財政を健全に維持しています					
政策の方針							
<p>今後、人口減少による財政規模の縮小が懸念されるとともに、合併による優遇措置が終了することから、より一層健全な財政の維持に向けて取り組む必要があります。</p> <p>そのために、適正な財政規模への移行と最少の経費で最大の効果を生み出すための財政運営を進めます。また、市税等自主財源の確保に努めるとともに、施設の長寿命化など市有財産の適切な管理を図ります。</p>							

1 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
経常収支比率	市税や普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当されたものが占める割合であることから、財政構造の弾力性を測るため。	出典：花巻市財政課調べ 毎年度の決算確定による地方財政状況調査作成において算出	%	目標値	87.00	94.00	94.00	94.00	94.00	
				実績値	92.70	86.10	83.90	90.30		
実質公債費比率	地方公共団体の一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率の過去3年間の平均値で、借入金（市債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を表す指標であることから、返済額の負担が大きすぎないかを測るため。	出典：花巻市財政課調べ 毎年度の決算確定による健全化判断比率算定において算出	%	目標値	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00	
				実績値	9.30	8.60	8.30	8.40		
				目標値						
				実績値						

2 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経常収支比率については、光熱水費、施設燃料費及び公債費の増や臨時財政対策債の減などにより、前年度から6.4ポイント増加したものの目標値を下回ることができた。</li> <li>・実質公債費比率については、元利償還金及び準元利償還金、標準財政規模ともに増加し、前年度から0.1ポイント増加したものの目標値を下回ることができた。</li> </ul>

3 政策の総合的な評価

評価区分	政策の課題と要因
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各財政指標から、健全な財政運営が行われていると捉えており、市税のほかイーハトーブはなまき応援寄附金（ふるさと納税）等の自主財源の確保に努めている。</li> <li>・利活用が見込めない市有財産について、適切な価格での売却及び土地の貸付を行い、財産収入の増加と維持管理コストの縮減を図るとともに、施設の長寿命化など市有財産の適切な管理に継続して取り組む。</li> </ul>

4 政策に対する各施策の達成度

No	施策名	成果指標名	単位	数値区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06	
1	適正な財政規模への移行			目標値							
				実績値							
						目標値					
						実績値					
						目標値					
						実績値					
2	自主財源の確保			目標値							
				実績値							
						目標値					
						実績値					
						目標値					
						実績値					
3	市有財産の適正な管理			目標値							
				実績値							
						目標値					
						実績値					
						目標値					
						実績値					

5 政策を構成する施策一覧

1	施策名	適正な財政規模への移行			
	施策の成果指標の達成状況	H31	R02	R03	R04
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初予算編成時に、毎年財政調整基金からの繰入金の上計が必要となっている状況にあり、予算計上経費の精査に加え、全体の財源を補足する観点からも基金残高を確保する必要がある。</li> <li>・現在進めている産業団地整備のほか、実施について検討中の大型事業（新花巻図書館整備、花巻駅東西自由通路整備など）、公共施設等維持保全経費などを含む財政見直しを作成し、実現に向け財源を確保する必要がある。</li> </ul>			
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害が発生した場合や感染症の拡大した場合に、国や県からの支援金等が市に交付されるまでの間、市において、財政調整基金を財源として市民に対する支援や対策を早期に行うことが想定されることから、基金を確保する。</li> <li>・第2次花巻市まちづくり総合計画（前期アクションプラン）や花巻市公共マネジメント計画【実施計画編】第2次の策定に連動し、次年度の予算編成方針の早期作成のほか、事業の財源については、交付税算入率の高い市債メニューの選択を引き続き行うなど、安定した財政運営を行う。</li> </ul>			

2	施策名	自主財源の確保			
	施策の成果指標の達成状況	H31	R02	R03	R04
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収納対策については、着実に収入未済額と未納者数の圧縮に努めていく必要がある。</li> <li>・ふるさと納税については、コロナ禍が解消され、寄附者が選ぶ返礼品が変化してきていることから、寄附者のニーズに合わせた対応をしていく必要がある。</li> </ul>			
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収納対策については、事務処理の見直しやデジタル化などにより事務負担の軽減を図りながら滞納整理を進める。</li> <li>・ふるさと納税については、コロナ禍が解消され人の往来が増えていることから、着地型と言われる花巻市内での宿泊等に利用できるふるさと納税商品券等の導入について検討を行う。</li> </ul>			

3	施策名	市有財産の適正な管理			
	施策の成果指標の達成状況	H31	R02	R03	R04
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未利用市有財産（土地）は、不整形地や狭小地などの公売による売払いに適さない土地もあり、隣接地と一体的な利活用等を検討する。優良な物件が少なくなってきており、過去に公売を見送った物件の見直しや売払い不適物件を解消するための整備を行い、公売可能な物件とするための投資を行う必要がある。</li> <li>・公共施設マネジメント計画を推進するため、施設管理の位置づけや庁内における推進体制の構築を図る必要がある。</li> </ul>			
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利活用予定のない市有財産について、適切な価格での売却及び土地の貸付けを行い、財産収入の増加を図るとともに、活用の見込みのない施設の解体などにより、維持管理コストの縮減を図る。</li> <li>・公共施設の最適な施設保有量、コスト縮減、平準化を図るため、公共施設マネジメント計画【基本方針編】へ効果額等を反映させるなど見直しを進めるとともに、公共施設マネジメント計画【実施計画編】第2次の策定を行う。</li> </ul>			